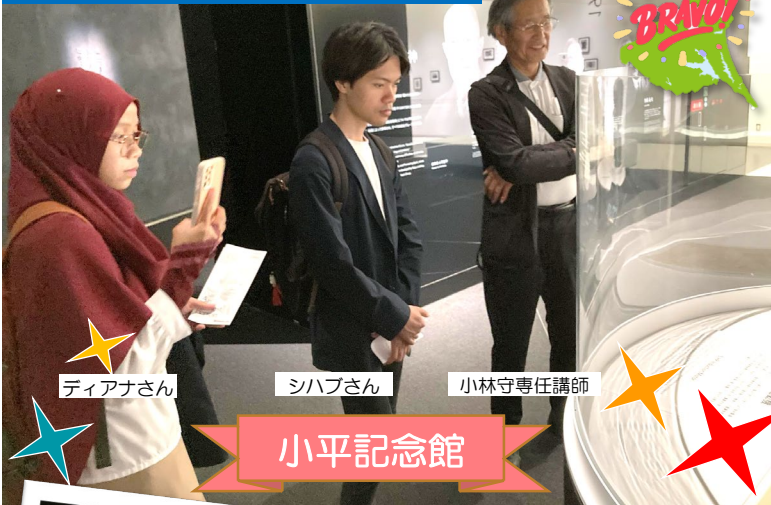




1 「Bravo茨城！」

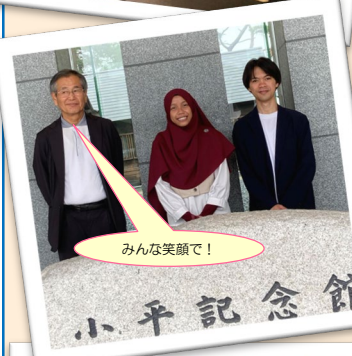


ディアナさん

シハブさん

小林守専任講師

小平記念館



みんな笑顔で！



彼らの挑戦の歴史は素晴らしい



とっても美味しい！

インドネシア留学生のディアナさんとシハブさんが、小林守専任講師に案内され、日立市の「小平記念館」を見学しました。同館は、日立製作所の創業者小平浪平が掲げた企業理念「優れた自主技術、製品の開発を通じて社会に貢献する」や日立創業の精神、世界中の人々と社会課題を解決してきた事例などを紹介しています。

●ディアナさん
日立の企業理念「会社の仕事は決して利益を儲けるためではない」はとても印象的でした。創業以来、様々なものを開発している日立のすばらしさとその原点を知ることが出来ました。将来、IT技術者として、しっかりと頑張っていきたい。

●シハブさん
小平記念館を見学しました。小平浪平は、海外から輸入した電気製品の国産化を決意し、仲間と共に製品を生み出し、現在の日立製作所を築きました。彼らの熱意がひしひしと伝わってきました。卒業後、私も企業で、プライドを持って仕事をしたいと思いました。

二人の留学生の言葉に小林守専任講師は「若い二人の挑戦にリスペクト」とほほ笑んでいました。

2 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事＞ 日本経済新聞(2024年6月5日) 世界で開発進む次世代半導体 ～世界大手、微細化競う～

●内田蔵人さん(石岡商高卒)
◇要約：半導体の世界大手企業は2ナノ品の量産を目指している。この半導体は人工知能サーバーや自動運転に使用される。しかし、回路線幅の微細化に伴う物理的限界も指摘されている。日本の技術が重要だ。
◇感想：今の半導体でも十分な速さが実現できていると思うが、2ナノ品の半導体が普及したらどれくらい早くなるのかと楽しみである。将来の仕事に関わる記事であり、今後も注目していきたい。

●永井海羽さん(日立商高卒)
◇感想：2ナノは人工知能に使われていることを初めて知った。プログラミングを扱う私たちにとって重要な記事である。プログラミングだけでなく、半導体のことも学び、様々な分野に対応できるようにしたい。

●浅井佑一さん(水戸平成学園高卒)
◇感想：私は将来2ナノ品の半導体が使われている自動車の自動運転技術の開発に携わりたいと思っている。2ナノ品の量産をできるだけ早く実現して欲しい。しかし、日本は、外国企業に比べ後れをとっており、日本の量産はまだまだ先になりそうだ。

●村澤伸哉さん(勝田工高卒)
◇感想：世界では、次世代半導体の量産を2年後に目指していることに驚いた。日本は半導体の開発競争から大きく遅れをとっている。将来、私がエンジニアになったら、この遅れをしっかりと取り戻せるよう頑張りたい。



3 進む校内美化！



ITから創造した未来へ